

ねいの里 ホオホオニュース



平成24年度 生き物ふれあい自然塾 行事予定

月日	テーマ	場所	定員	時間
5/13(日)	バードウォッチング	野鳥の園・古洞池	なし	8:00~12:00
5/20(日)	海浜釣糸清掃	新湊漁港	なし	9:00~11:00
6/3(日)	ホトギスに親しむ	ねいの里	なし	8:00~10:00
6/24(日)	囲炉裏教室とヘイケボタル観賞	ねいの里	なし	19:0~20:30
8/11(土)	トンボの調査・標本作り(夏休み宿題支援)	ねいの里	30名	9:00~12:00
8/26(日)	クツワムシを愛でる	ねいの里	なし	18:30~20:00
10/8(祝)	キノコ狩りとキノコ汁を愛でる	ねいの里	300名	9:00~13:00
1/4(金)~6(日)	春の七草を愛でる(七草の頒布)	ねいの里	200セット	9:00~17:00

生き物セミナーとビオトープづくり

4/21(土)	早春の生き物学習・ビオトープ整備 (対象 日露大学生・一般)	定員: なし 場所: ねいの里	9:00~13:00
6/29(金)	里地の水辺エコアップ (対象 大学生)		9:00~13:00
9/16(日)	希少生物保護回復事業: ササユリ・カンアオイ等増殖		9:00~13:00
2/3(日)	第3回 動物の体を知る・恵みに感謝		9:30~13:00
3/10(日)	ホクリクサンショウウオ生息地拡大事業		10:00~13:00

特別展示

テーマ	期間	テーマ	期間
日鳥連富山県支部写真展	4/2(月)~5/18(金)	ねいの里キノコ写真展	9/1(土)~11/17(土)
愛鳥ポスター展	5/21(月)~6/20(水)	キリギリスのお宿	9/1(土)~9/30(日)
自然保護協会 環境写真展	7/12(木)~8/6(月)	いちよん会 自然写真展	11/18(日)~12/16(日)
環境月間ポスター展	8/8(水)~8/19(日)	春の七草実物展	12/10(月)~1/16(水)
県内のカブト・クワガタ・淡水魚展	7/13(金)~8/31(金)	ネイチャーフォト展 自然塾の会写真展	12/20(木)~3/31(日)

ナチュラリスト関連行事

4/20(金)~28(土)	ロシア渡り鳥交流	鳥類観測ステーション	—
7/7(土)・7/28(土)	ジュニアナチュラリスト養成講座(ねいの里研修)	ねいの里	—
8/4(土)~5(日)	ジュニアナチュラリスト養成講座(有峰研修)	有峰	—
9/8(土)	有峰の自然を探る(アサギマダラ等調査/対象 Jr ナチュラリスト)	有峰	8:00~17:00

里つこ山つこに

アサギマダラの再捕獲について

ジュニアナチュラリスト 河南 翔大 君 (高岡市立福岡中学校1年)

僕のマーキングしたアサギマダラが、徳島県阿南市(移動距離386キロ)で再捕獲されたと聞いて、「やったー。」と、とてもうれしかったです。

昨年、9月11日「有峰の自然を探る」の行事で、アサギマダラのマーキング調査をしました。僕にとっては、二度目のチャレンジでした。一度目の時は、まったく捕獲することが出来ず残念でした。今年こそはと意気込んでマーキング調査に望みました。昨年と違いたくさんの蝶が飛んでいました。

アサギマダラは羽を開くと10cmくらいの比較的大きく、とても美しい蝶です。マーキングをしている時、この蝶は何処まで飛んで行くのだろうかと思っていました。

再捕獲率は1%程度という事だったので僕のマーキングした蝶は無理かなとも思っていました。10月に長谷川さんから再捕獲されたと聞いて、本当にうれしかったです。しかも、一緒に参加していた弟がマーキングした蝶も高知県室戸市(移動距離466キロ)で再捕獲されたと聞いて、更に喜びが増しました。

これからもマーキング調査に参加して、アサギマダラの謎についても知ることが出来たらいいなと思っています。



マーキングされたアサギマダラ

活動をふりかえり

◆ 生き物との共生セミナー「動物の体を知る・恵みに感謝」 2月5日

南砺市福光で狩猟されたいのししを解剖しながら、間宮先生が体の構造を説明されました。中学でのカエルの解剖以来の体験でした。親子連れの方も多く、将来のお医者さん希望の子供たちは、とても貴重な体験だったのではと思います。いのししの内臓、牛の反芻胃も展示してありました。牛は草など食べると第1、第2と2つの胃を通り、又、口に戻り、もぐもぐと噛み、第3、第4の胃へ送られます。だから硬いものを食べて大丈夫です。

話には聞いていましたが、初めて実物を見ました。レクチャーのあと感謝の気持ちでシカのビーフシチューを頂きました。貴重な体験をさせて頂き、どうも有難うございました。

石村 むつみ (ナチュラリスト)



春一番の生き物観察と塾の会総会 3月11日

地震・津波は私たちにとって、恐ろしい自然の力・・・明るい日差しと青い空に恵まれた3月11日。震災の鎮魂と復興を祈り、私たちが今日こうして自然の営みの一部を観ることができていることに感謝して、観察会は始まりました。今年の春の足音はゆっくり・・・植物には目立った様子はみられませんが、樹皮に着生したノキシノブ(シダ植物)やサルトリイバラのツルなど普段見落としてしまいそうなものを、じっくり観ることができました。

また、誰が食べたか? どうしたのか? マンサクの花はちょっとだけ咲いて、ザゼンソウは、『まだ早い、半月後においで〜』と言ってるようでした。一方、動物たちはホクリクサンショウウオやヤマアカガエルの卵塊が見られ、新しい命がスタートしているのがわかりました。そして『ホーホケキョ』とウグイスの囀りで参加者全員が間違いなく春の訪れを感じる日であったと思われます。森 まさみ (ナチュラリスト)



お気軽にねいの里へお越しください！ (都合のよい時間だけの部分参加も歓迎です。)
昼食は各自ご持参ください、炭焼き小屋の囲炉裏をかこんでわいわい楽しく食べましょう。

4月 7日 (土)	5月3日 (祝日)
○ 午前9時 ~ 12時 ・ギフチョウと春の観察会 早春のねいの里散策とギフチョウの観察を行います。	○ 午前9時30分 ~ 11時 ・新緑の里山ハイキング ねいの里～トンネル～平等～猫坂峠～ねいの里と新緑の里山をハイキングします。
参加者/定員なし	参加者/定員なし

参加希望者はねいの里までお申し込み下さい。

～ねいの里行事予定 案内～

- 5月13日 (日) 8:00 ~ 12:00
バードウォッチング 場所 野鳥の園・古洞池 (富山県・日鳥連 富山県支部 共催)
- 5月20日 (日) 9:00 ~ 11:00
海浜釣糸清掃 場所: 新湊漁港 (日鳥連 富山県支部 共催)
- 6月3日 (日) 8:00 ~ 10:00
ホトトギスを楽しむ)

参加希望者はねいの里までお申し込み下さい。

■ 特別展示

4月 2日 ~ 5月18日 日鳥連富山県支部写真展
5月21日 ~ 6月20日 愛鳥ポスター展

■ お願い ■

- **生き物ふれあい自然塾の会 会員募集中**
皆さんのお知り合いで、ねいの里をご利用の方がおられましたら、自然塾の会への入会をお勧め下さい。ナチュラリスト駐車場の利用出来ます。また、「ねいの里」の会報もお送りします。
- **「生き物ふれあい自然塾の会」会費納入のお願い**
平成24年度の会費を受け付けています、会費 (1000円) 納入よろしくお願ひいたします。
納入後 平成24年度会員証をお渡しします。
- 会員の駐車場利用について
会員の方は、「ねいの里」行事への参加や施設の利用を前提に、ナチュラリスト駐車場を利用する事が出来ます。

発行 生き物ふれあい自然塾 塾長 湯浅純孝

〒939-2632 富山県富山市婦中町吉住1-1 自然博物園ねいの里内
Tel 076-469-5252 / メールアドレス shizen@toyamap.or.jp
ホームページ <http://www.toyamap.or.jp/shizen/>

ふくろう通信

第25号
2012年 3月25日
生き物ふれあい自然塾



今日のふくろう先生

藤條 好夫さん

日本山岳会会員
富山アサギマダラ調査会会員



アサギマダラに誘われ・・・旅するロマンの蝶

アサギマダラを「ステンドグラスの様な蝶」と書いた人がいるが、まさにチョコレート色に縁取られた中にちりばめた半透明の浅葱 (アサギ) 色の文様で漂う様は可憐で美しい。

学名を *Parantica sita* といい、*sita* (シーター) とはインド神話の農耕の女神で貞淑で美しく理想の女性らしいですからピッタリの学名です。旅をする蝶としても有名だが、昨年は日本から放蝶したのが遠く香港で再捕獲が確認された。どこにそんな力を秘めているのか驚きの飛行能力です。

どんな方法で太平洋の大海原で自分の渡る方向を決めているのかも不思議です。そして、何のために2000km以上に及ぶ渡りをしているのか。富山県内では5月下旬には北上して来て里山で目にします。翅はボロボロで南方の島から長旅の末ここまでたどり着いた姿に感動さえ覚えます。

梅雨明け頃、羽化した新世代のアサギマダラが現れ始めます。県内では医王山・白木峰・有峰・僧ヶ岳などが捕獲ポイントとして知られていますが、ねいの里が主催して始まった調査はまだ10年程です。まだまだ情報不足です。

県内の何処かに人知れず乱舞している場所がある様な気がします。鳥の渡り、魚類の回遊などは調査のため捕まえるとしてもとても困難で研究者が行う分野です。ところが、アサギマダラの渡り調査は誰でも簡単に参加出来ます。

毎年9月に有峰でジュニアナチュラリストとマーキング活動しますが、自然の中でみな楽しそうに嬉々として網を振っています。そして、後日マークした蝶が遥か南の地から再捕獲の嬉しい知らせが届きます。子供達には強い印象としての思い出になっているはずですし、謎の渡り解明のための貴重なデータとして記録されます。

近年私は僧ヶ岳林道でよくマーキングしています。僧ヶ岳は若き頃に登山の洗礼を受けて足繁く通いヒマラヤへもつながった青春の山です。30年余の年月を経た今、アサギマダラに誘われて再びこの山に戻り通うことになった。蝶は「飛ぶ」より「舞う」とした表現が似合いますが、アサギマダラにはピッタリな言葉です。大きく翅を広げ「フワリ、フワリ」と優雅に野山を舞っています。



有峰でのジュニアナチュラリスト達のマーキング調査風景

それを見る時「花咲き蝶が舞う」と言う自然豊かな風景に囲まれている安らぎが湧きます。

マークした後、放蝶すると上昇気流に乗りどんどん舞い上がり最後は点となり次々と天空に消えていきます。遥か南の島々へのロマンに満ちた旅立ちです。そのアサギマダラを見送りながら少しだけロマンのお裾分けにあずかっています。



ジュニアナチュラリスト達を指導する藤條さん